

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	47011222
科目名	日本社会史 Japanese Social History				
担当教員	二星 潤				
単位数(時間数)	必選 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	近代以前の日本社会の特色についての認識を深めることにより、歴史的思考力を培う。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	履修条件として、歴史の基本的な知識(本科1年「世界史」・2年「日本史」レベル)を持っていることが望ましい。それらの知識が不足している場合は、各自が事前に補っておくことが必要である。				
	授業項目	時間	内容		
1	社会史の学び方	2	日本社会史を学ぶ目的を考える。		
2	縄文時代の社会	2	考古資料から縄文時代の社会を考察する。		
3	農耕社会の成立	2	水稲耕作の開始が日本社会に与えた影響を知る。		
4	平城京と地方社会	2	律令体制の整備と地方社会の関わりを考察する。		
5	平安貴族の社会	2	平安貴族の特色について理解する。		
6	古代仏教と社会	2	古代仏教が日本社会に与えた影響を知る。		
7	院政期の社会	2	院政期の社会の特徴を理解する。		
8	中世の武士社会	2	中世の武士の生活について考察する。		
9	中世社会の変動	2	商工業の発達による社会の変動を知る。		
10	武家社会の成長	2	諸産業の発達による社会の多様な展開を理解する。		
11	近世の社会	2	近世の社会の特徴を理解する。		
12	近世の都市	2	近世の都市構造について考察する。		
13	近世の地域社会	2	近世の地域社会の運営について知る。		
14	近世社会の変容	2	近世社会の変容が与えた影響を考察する。		
15	まとめ	2	日本社会とは何かを考える。		
前期中間試験					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解した上で、論述問題をまとめることができることにより、学習・教育目標の(A-1)の達成とする。				
成績評価	期末試験(70%)とレポート(30%)で(A-1)を評価し、6割以上の得点で合格とする。				
教材	教科書: プリントを配布する。 参考書: 授業で随時紹介する。				
オフィスアワー	木曜日 16:00 ~ 17:00, 管理・一般科棟3F西 二星潤教員室				